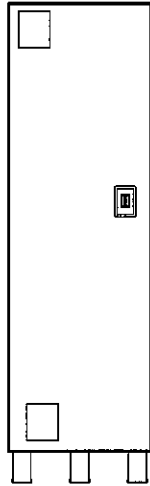


高圧力型電気温水器 (通電制御型) 〔温水ボイラ〕 取扱説明書



形名 DO-465GPTH

このたびは長府製品をお買い求めいただきまして
まことにありがとうございます。

●この電気温水器は申請により、通電制御型として
電気料金の割引が適用されます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は必ず保存し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・営業所にご連絡ください。
- 電力会社により昼夜間の時間帯区分が異なりますので、詳しい内容については最寄りの電力会社にお問い合わせください。
- 製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

20154361 (K)

も く じ

ページ

ご使用の前に

特 徴	1
特に注意していただきたいこと	2
各部のなまえ	
外観図	7
構造図	7
配管例	8
配線例	8
リモコン	9
使用前の準備	
給水	11
使用前の準備と確認	11
現在時刻の設定	12

ご使用のとき	使用方法	
	沸き上げ方法	13
	沸き増し方法	14
	数日間運転を停止する方法	15
	使用上の注意	16
	停電したときは	17
	長期間使用しない場合	17
	災害時などにお湯を取り出す	18
	地震などの被害があったとき	18
	凍結予防	19
安全装置	20	

上手に使ってね	日常の点検・手入れ	20
	定期点検	22

故障など	故障・異常の見分けかたと処置方法	
	サービスを依頼される前に……………	23
	エラーコード(警報)表示……………	23
	部品交換のしかた……………	24
	仕 様……………	24
	アフターサービス……………	24
	設置工事後の確認と試運転	
	設置工事後の確認……………	25
	試運転……………	25

運転のしくみ

- (1)午後 11:00 になると給水温度、設定温度などにより、マイコンが所要通電時間を算出します。
- (2)通電時間になるとヒータへ通電を開始します。
- (3)設定温度まで沸き上がるか、夜間電力が供給されなくなるとヒータへの通電は停止します。

電力制度を選べます

この機器に適用される電力制度は、「時間帯別電灯」契約と「深夜電力」契約とがあります。
昼夜間の時間帯区分は電力会社によって異なります。

■「時間帯別電灯」契約

ご家庭のすべての電力を午前 7:00 ～午後 11:00 の昼間時間帯と、午後 11:00 ～午前 7:00 の夜間時間帯とに分けて電力料金を計算します。昼間、沸き増しができるため、湯切れの不安に対応します。昼間の料金は若干高くなりますが夜間の料金は深夜電力並ですので夜間に電気製品を多く使う家庭にピッタリです。

■「深夜電力」契約

翌日使用するお湯を午後 11:00 ～午前 7:00 の間に沸かして貯めておく電気温水器に適用される料金制度です。料金は昼間料金の約 1/3 です。この製品はマイコンによって、通電時間を調節するピークシフト機能が付いており、さらに割引になります。

お湯の上手な使いかた

1 日に使用できる湯量は限られていますので、お湯は大切に使用してください。

- 高圧力型のため、出湯量は従来の電気温水器よりも約 20%程度多くなります。シャワーを使うときや、洗いものをするときなどは、こまめに止めましょう。流しっぱなしにすると湯切れの原因になります。
- 入浴はできるだけヒータ通電中(午後 11:00 頃から午前 7:00 まで)を避けてすませるようにしてください。ヒータ通電中にお湯を使うと翌日の湯温が低くなることがあります。
- 自動スイッチが「入」の場合、毎日の使用量がほぼ一定していると電気代の節約ができます。来客などで使用量が急増する場合や、冬期に熱いお湯が必要な場合は、前もって設定温度を「高」に切り替えてください。
- お湯が冷めやすい浴そうがあります。入浴後は必ずふたをしましょう。



災害時などに水が使えます

断水時や万一の地震などの災害時は、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。
取り出し方法は「災害時などにお湯を取り出す」をお読みください。



特に注意していただきたいこと

- ご使用の前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが考えられる場合を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が考えられる場合を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が考えられる場合、および物的損害の発生が考えられる場合を示しています。

- 絵表示について次のような意味があります。

 一般的な禁止	 必ず行うこと	 高温注意
 分解禁止	 アースを接続すること	 感電注意
 接触禁止	 一般的な注意	

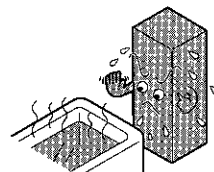
危険

浴室内の設置禁止（感電・事故の原因）

屋内・屋外どちらでも設置できますが、浴室内には設置しないでください。



禁止



警告

高温注意（やけどの原因）



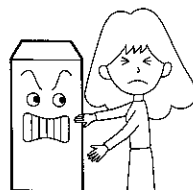
高温注意



シャワーを使用するときや入浴するときは手で湯温を確かめてください。また給湯じゃ口を開くと、熱湯が吹き出ることがあります。やけどに注意してください。



接触禁止



使用中は高温部に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

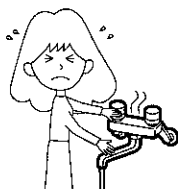
特に注意していただきたいこと

警告

給湯時は混合水栓に手を触れない (やけどの原因)



接触禁止



お湯を出しているときに混合水栓に触れるとやけどをすることがあります。

電源は单相 200V を使用する (火災・事故の原因)



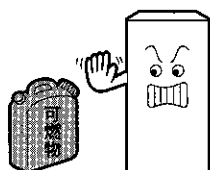
確認

電源は单相 200V で、専用の回路が必要です。配線用遮断器(ブレーカ)、電線の太さなどは機器にあったものを使用してください。

周囲の確認 (火災の原因)



確認

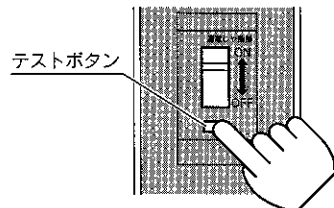


近くに灯油、ガス、ガソリンなど引火性のものを置かないでください。

漏電遮断器の確認 (感電の原因)



確認



漏電遮断器が故障したまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。

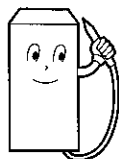
「日常の点検・手入れ」に従って作動テストを行ってください。



アースの確認 (感電の原因)



アースをする



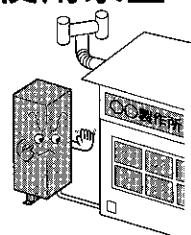
アースが確実に取り付けられていることを確認してください。(D 種接地工事)
ガス管、水道管、電話のアース線、避雷針に接続したり、他の器具とアースを共用しないでください。

家庭用以外の使用禁止

(事故の原因)



禁止



この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。業務用に使用すると法令違反になります。

異常(こげ臭いなど)時は、200V 電源ブレーカを「切」にし、お買い求めの販売店にご連絡ください。

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。



確認

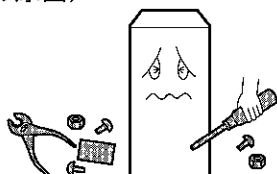
⚠️ 注意

分解・修理・改造をしない

(感電・漏電・火災の原因)



分解禁止



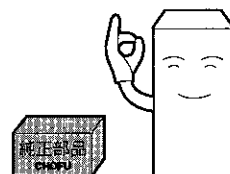
故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

純正部品以外は使用しない

(事故・故障の原因)



励行



部品は必ず長府高圧力型電気温水器純正部品
(指定された部品)を使用してください。

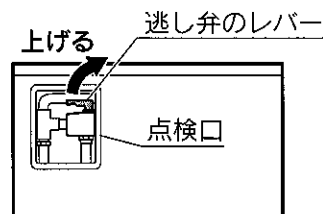
逃し弁の確認 (事故の原因)

逃し弁が故障したまま使用すると、事故の原因になります。

「日常の点検・手入れ」に従って作動テストを行ってください。



確認

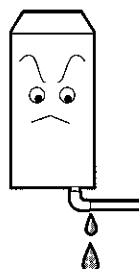


水漏れの点検

(事故の原因)



確認



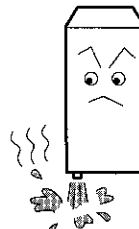
機器や配管から水漏れがないことを点検してください。事故の原因になります。

熱湯の排水禁止

(やけどの原因)



禁止



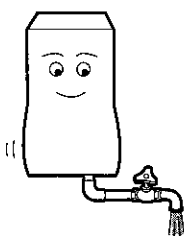
機器内にたまった熱湯は直接排水しないで、水で薄めて流すか、冷えてから排水してください。
またこの熱湯や蒸気には触れないでください。

空だきに注意

(火災・過熱の原因)



励行



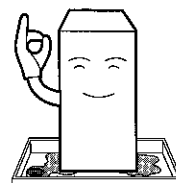
機器に水が入っていないときに漏電遮断器のレバーを「ON」にしないでください。
必ず給湯じゃ口から水が出ることを確認してください。

防水処理・排水処理の確認

(事故の原因)



励行

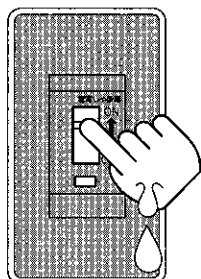


屋内に設置する場合は、床面が防水処理・排水処理されていることを確認してください。
処理されていないと水漏れが起きた場合に大きな被害の原因になります。

特に注意していただきたいこと

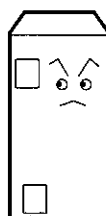
⚠️ 注意

濡れた手危険 (感電の原因)



漏電遮断器のレバーを濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあり、危険です。

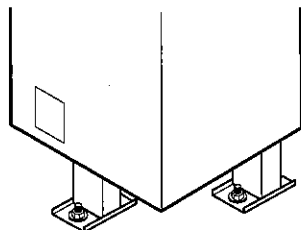
操作扉・点検口ふたは閉じておく (ショート・感電・漏電の原因)



操作扉・点検口ふたを開いたままにしないでください。

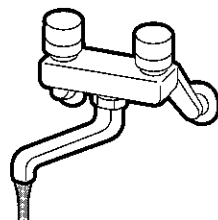
操作・点検の後は必ず閉じてください。

機器の固定確認 (事故の原因)



機器がアンカーボルトで固定されていることを確認してください。転倒すると危険です。

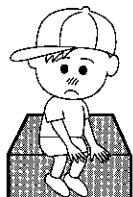
用途に注意 (事故の原因)



家庭の給湯、シャワー以外の用途には使用しないでください。

思わぬ事故の原因になります。

機器の上に乗ったり、配管に力を加えない (事故・破損の原因)



機器の上に乗ったり、配管をゆらしたりしないでください。機器が倒れたり、配管が破損したりして事故の原因になります。

安全装置が作動したときは (火災・事故の原因)



安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。

火災・事故の原因になります。



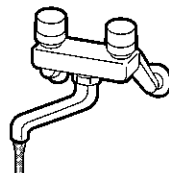
お願い

水質の確認

水は水道法に規定された水質基準に適合した水を使用してください。井戸水や温泉水を使用すると故障の原因になることがあります。



確認



凍結に注意 (故障の原因)



注意



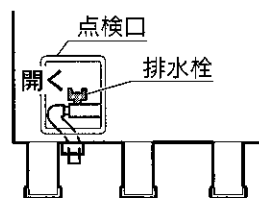
冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがあります。冬期には充分注意してください。

19-20 ページ

長期間使用しないときは



励行



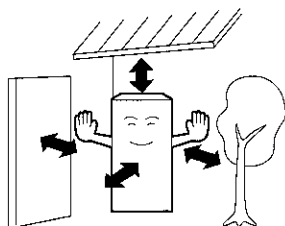
1 カ月以上使用しない場合は、200V 電源ブレーカを「切」にして機器内の水を抜いてください。

17 ページ

サービススペースの確保



励行



機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。

出湯量について



励行

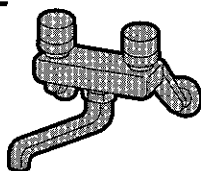


高圧力型のため、出湯量は従来の電気温水器よりも約 20% 程度多くなります。シャワーを使うときや、洗いものをするときなどは、こまめに止めましょう。流しっぱなしにすると湯切れの原因になります。

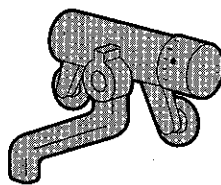
混合水栓について



確認



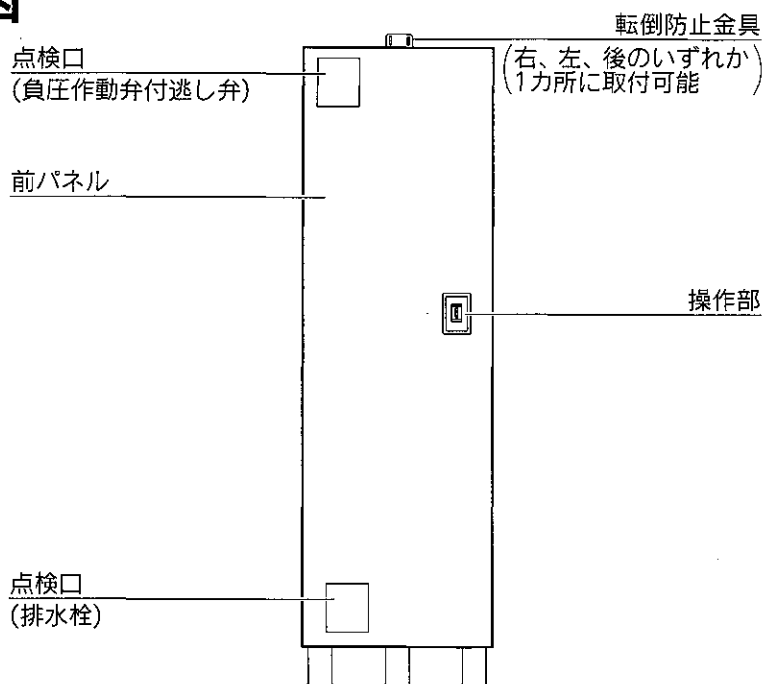
水栓は逆止弁付混合水栓で通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。



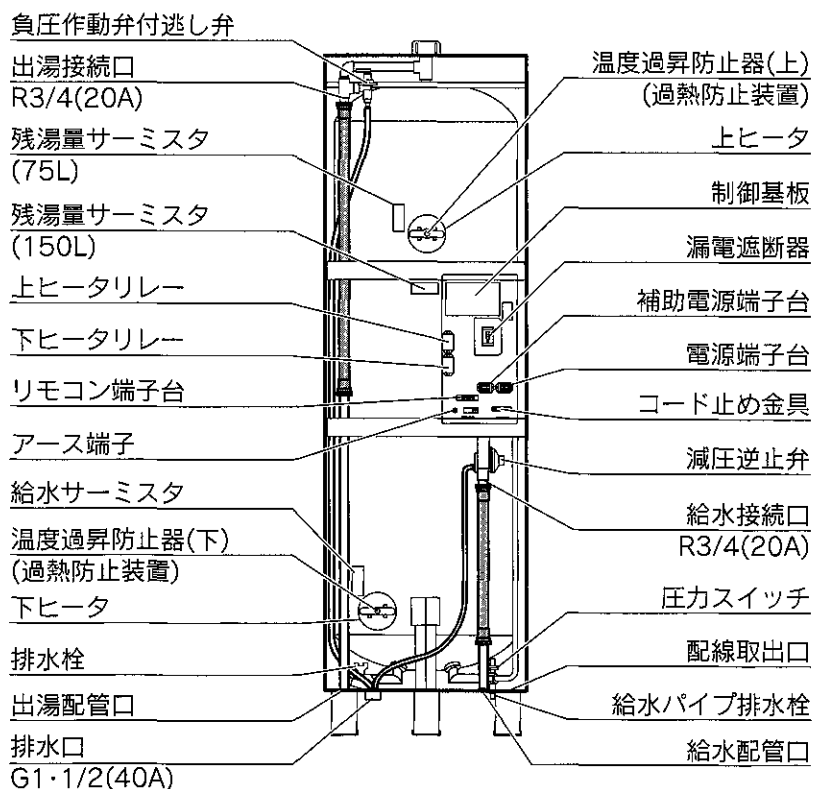
特に浴室ではやけど防止のためサーモスタット付混合水栓(通水抵抗の少ないもの)を使用してください。リモコンの設定温度は混合水栓の設定温度より高めに設定して使用してください。

各部のなまえ

●外観図



●構造図





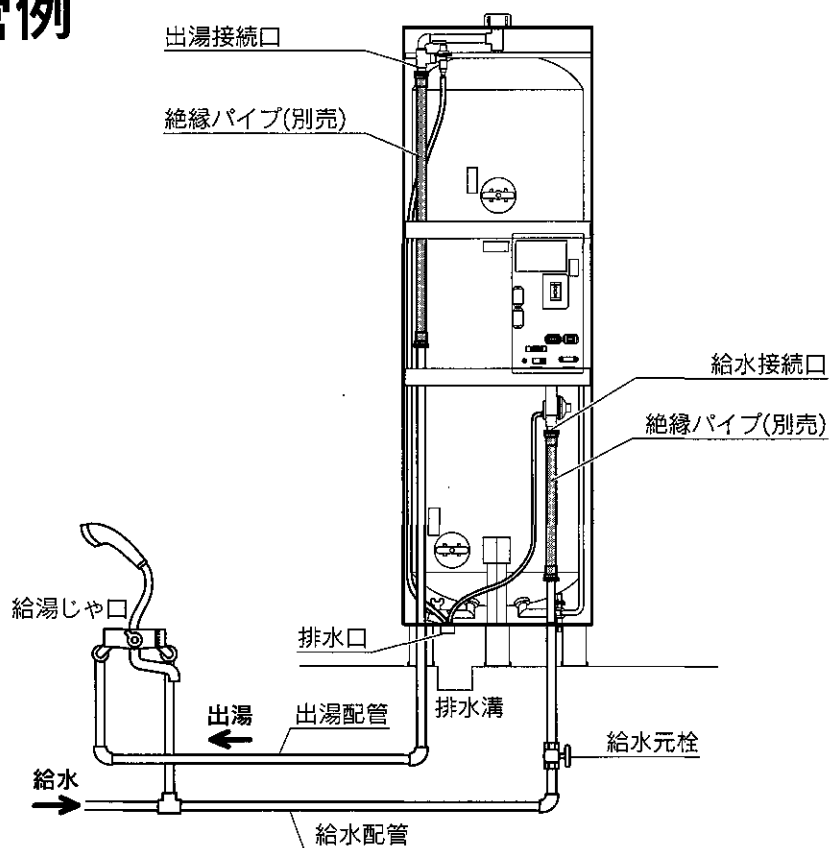
注意

修理技術者以外は前パネルを
はずさないでください。



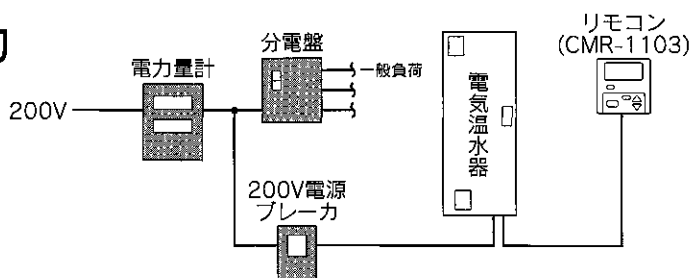
感電注意

●配管例

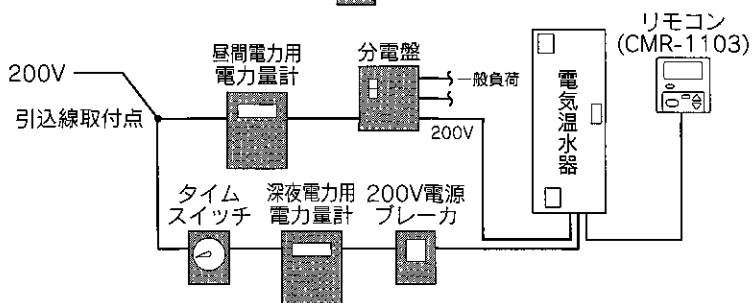


●配線例

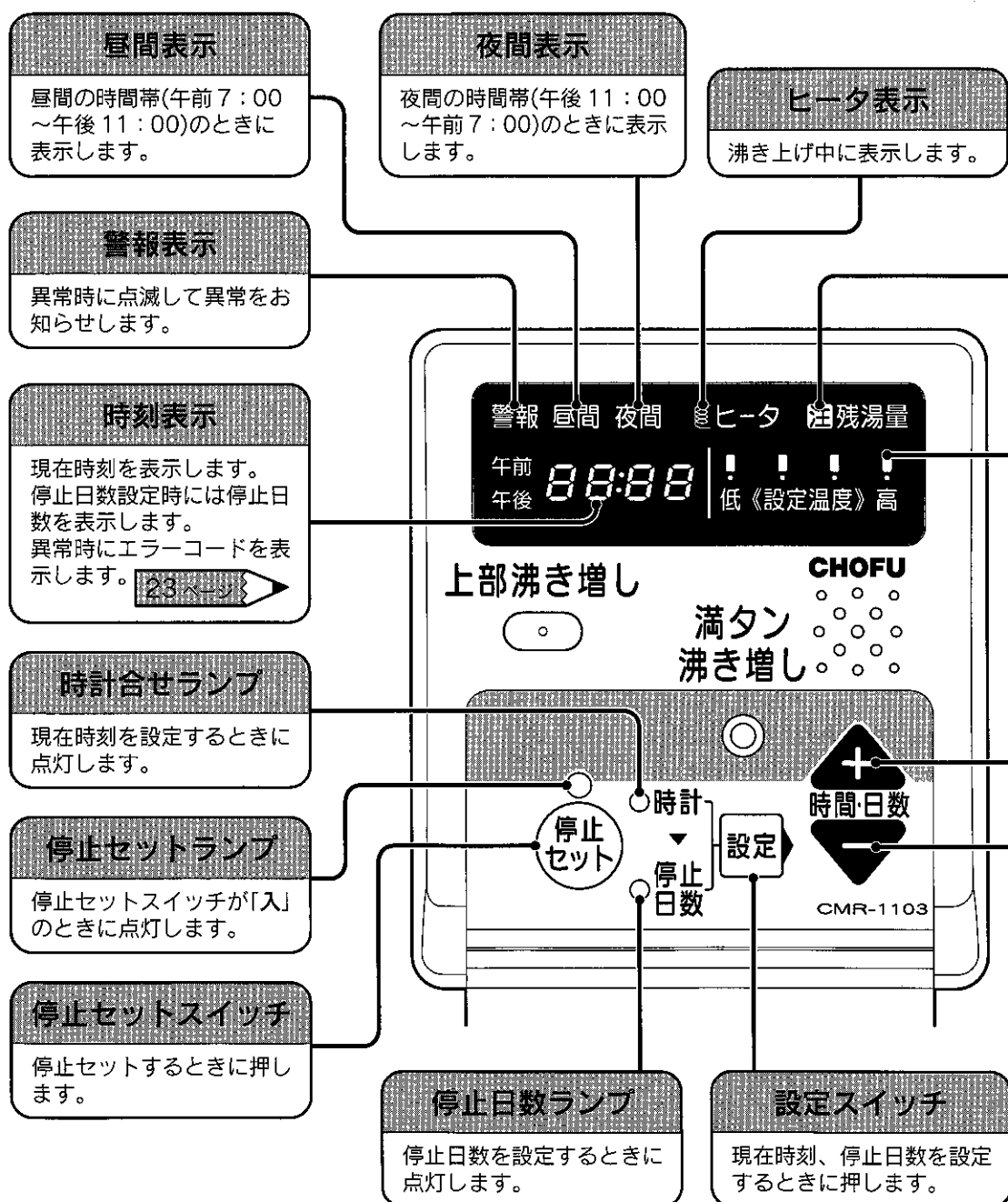
■「時間帯別電灯」契約



■「深夜電力」契約



リモコン(CMR-1103)



※ふたを開いた状態です。

表示例は説明のためのもので、実際とは異なります。

残湯量注意表示

タンク内に残っている湯量が75L以下になると表示します。

設定温度ランプ

沸き上げ温度のめやすを表示します。

55 65 75 90 °C

低《設定温度》高

上部沸き増しスイッチ (上部沸き増しランプ)

上部沸き増しをするときに押します。

14ページ

時刻/停止日数設定スイッチ

●時刻設定 ●停止日数設定(1~10)

▲	時刻を進める	停止日数を増やす
▼	時刻を戻す	停止日数を減らす

自動スイッチ (自動ランプ)

給水温度と過去の出湯量から翌日の出湯量を予測し、約60~90℃に沸き上げます。

満タン沸き増しスイッチ (満タン沸き増しランプ)

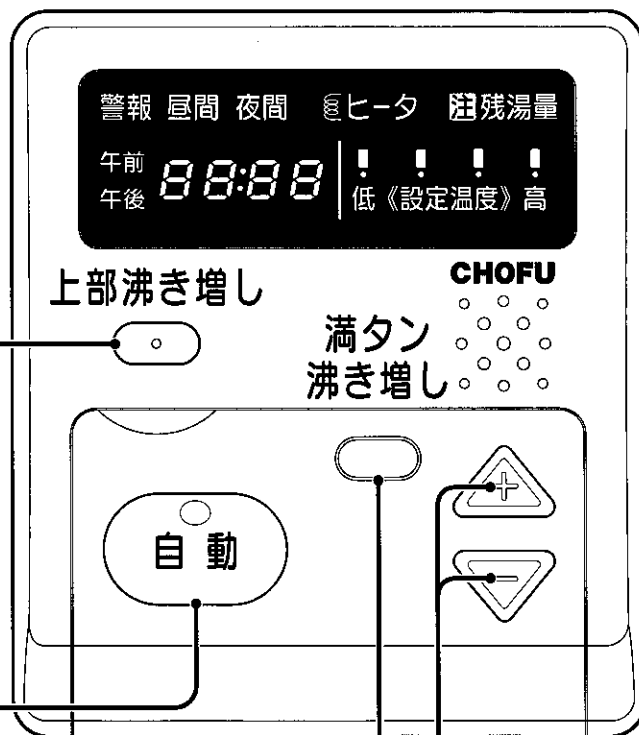
満タン沸き増しをするときに押します。

14ページ

温度設定スイッチ

「自動スイッチ」が「切」のときに4段階(約55~90℃)に温度を設定できます。

△…温度が高くなります。
▽…温度が低くなります。



※ふたを閉じた状態です。

使用前の準備

給水

設置後、はじめて使用するときは機器内や配管内のゴミなどを洗い流すために、給水後一度全部排水し、再び給水してください。

1 給水のしかた

排水栓を閉じ、給湯じゃ口、給水元栓を開くと、約 20 ～ 30 分で給湯じゃ口から水が出てきます。これで機器内は満水です。

2 排水のしかた

給水元栓を閉じ、逃し弁のレバーを上げ、排水栓を開きます。
約 30 ～ 40 分で排水します。

3 再給水のしかた

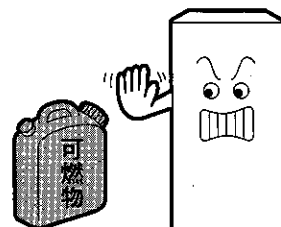
逃し弁のレバーを下げ、排水栓を閉じ、給水元栓を開きます。
給湯じゃ口から水が出てきたら、給湯じゃ口を閉じます。

使用前の準備と確認

1 給水および水漏れの確認

- (1)給湯じゃ口を開き、機器に水が入っていることを確認してください。
- (2)機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。
- (3)逃し弁のレバーを上げ、水が出ることを確認して、レバーを下げてください。

2 周囲の確認

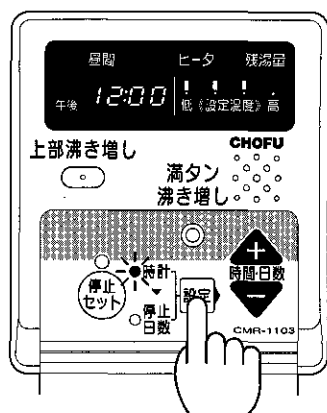


警告

機器の周囲に可燃物や、危険物がないか確認してください。

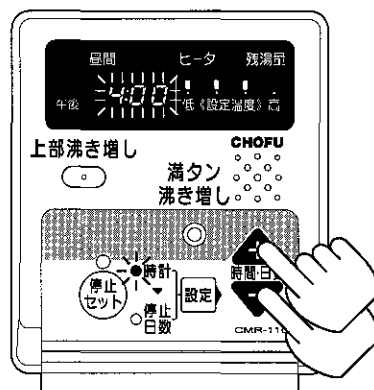
現在時刻の設定

1 設定スイッチを1回押す



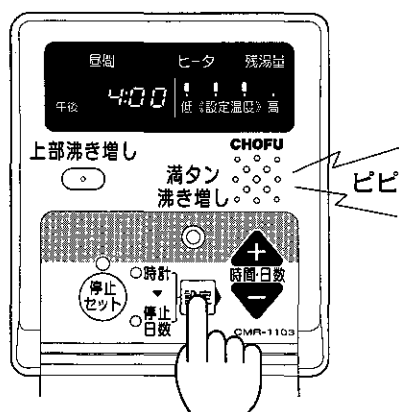
時計合せランプが点灯します。

2 時刻 / 停止日数設定 スイッチで現在時刻 を設定する



押し続けると 30 分ずつ変わります。

3 設定スイッチを2回押す



設定スイッチを押すとブザーが鳴って現在時刻の設定が完了します。
リモコンのふたを閉じることで同じように時刻の設定が完了します。

お知らせ

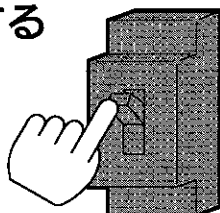
- 現在時刻の設定は 200V 電源ブレーカを「入」にした後に行ってください。
- 停電したときは現在時刻が合っているか確認してください。
- 現在時刻が合っていないと昼夜の判断が正しく行われず、電気料金が割高になることがあります。
- 時計の精度は月差で約 30 秒です。

13 ページ

使用方法

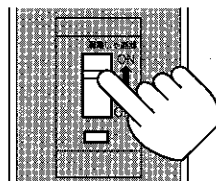
沸き上げ方法

1 200V 電源ブレーカを「入」にする



200V 電源ブレーカを「入」にします。
深夜電力契約では分電盤の電源ブレーカも「入」にします。

2 漏電遮断器のレバーを「ON」にする



機器正面の操作扉のねじ(1 個)をゆるめ、
操作扉を開きます。
漏電遮断器のレバーを「ON」にします。

3 温度調節の方法

リモコンの温度設定は午後 11:00 までに行ってください。

午後 11:00 以降に変更すると設定温度に沸き上がらないことがあります。

給水温度が低く、残湯量が少ない場合は 90℃ まで沸き上がらないことがあります。

●自動運転を設定する場合



自動スイッチを押し、自動ランプを点灯させます。

「自動運転とは」

最初の 5 日間は約 90℃ で沸き上げます。

その後、給水温度と過去の出湯量から翌日の使用量を予測し、約 60～90℃ に沸き上げます。

●温度を設定する場合



自動ランプが消灯した状態で温度設定スイッチを押し、ご希望の温度に調節します。工場出荷時は設定温度が「高」になっています。設定温度は 4 段階(約 55～90℃)に調節できます。自動ランプが点灯している場合は、自動スイッチを押して自動ランプを消灯させ、温度設定を行ってください。

停止

夜間電力終了時間(午前 7:00 頃)になるとヒータへの通電は停止します。また、夜間電力時間中に停止したいときは、操作扉を開いて漏電遮断器のレバーを「OFF」にしてください。

沸き増し方法

深夜電力契約でご使用の場合は、沸き増しは利用できません。

- 沸き増しは昼間電力でタンク内を沸き上げるので、電気料金は割高になります。
- 「満タン沸き増し」と「上部沸き増し」を同時に設定した時は「満タン沸き増し」を優先します。
- 沸き増しの場合もリモコンで設定した温度に沸き上げます。

上部沸き増し

たくさんのお湯を使用したとき、お湯がたりなくなるのを防ぎます。
75L以下になると 150L のお湯を確保します。

上部沸き増しスイッチを押す



上部沸き増しランプが点灯します。

停止



途中で停止したい場合は、上部沸き増しスイッチを押してください。

満タン沸き増し

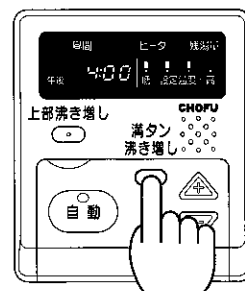
来客などで、たくさんのお湯が必要ときに設定します。
その日(午前 7:00 ~ 午後 11:00)は何回でもタンク全体の沸き増しを行います。

満タン沸き増しスイッチを押す



満タン沸き増しランプが点灯します。

停止

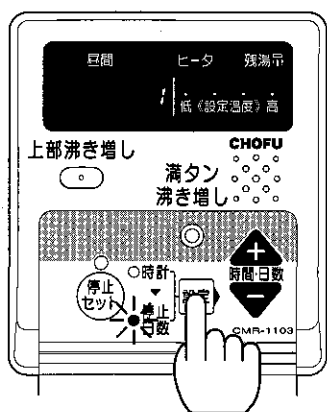


午後 11:00 になると自動的に解除されます。
途中で停止したい場合は、満タン沸き増しスイッチを押してください。

数日間運転を停止する方法

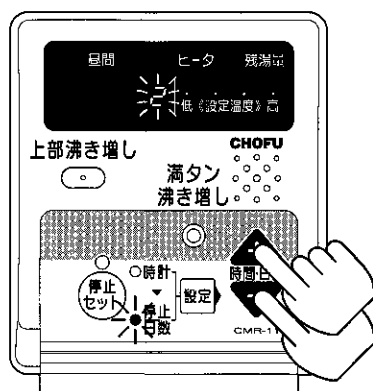
旅行などでお湯を使用しないときに数日間(1～10日)沸き上げを行わないように設定できます。

1 設定スイッチを2回押す



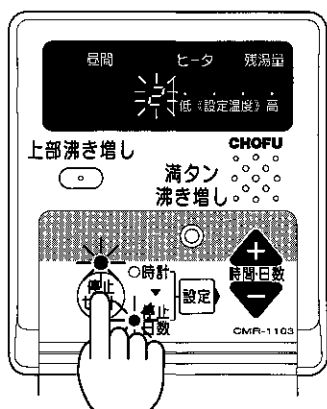
停止日数ランプが点灯します。

2 時刻/停止日数設定スイッチを押す



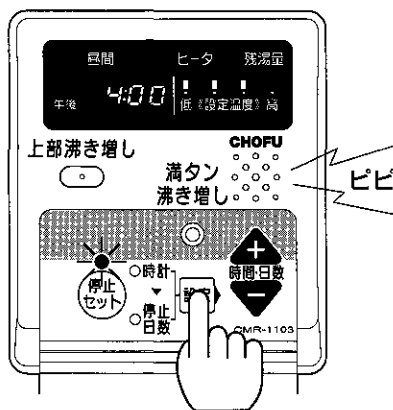
停止したいご希望の日数に合わせます。
停止できる日数は1～10日間です。

3 停止セットスイッチを押す



停止セットランプが点灯します。

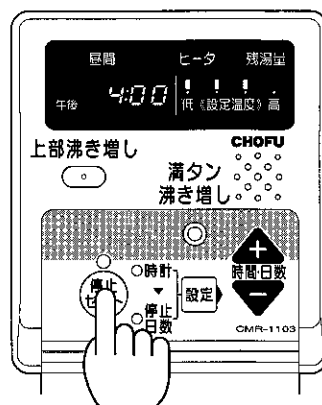
4 設定スイッチを1回押す



設定スイッチを押すとブザーが鳴って停止セットが完了します。
リモコンのふたを閉じることで同じように停止セットが完了します。

停止セットの解除

停止セットスイッチを押すと停止セットランプが消灯し、停止セットが解除されます。

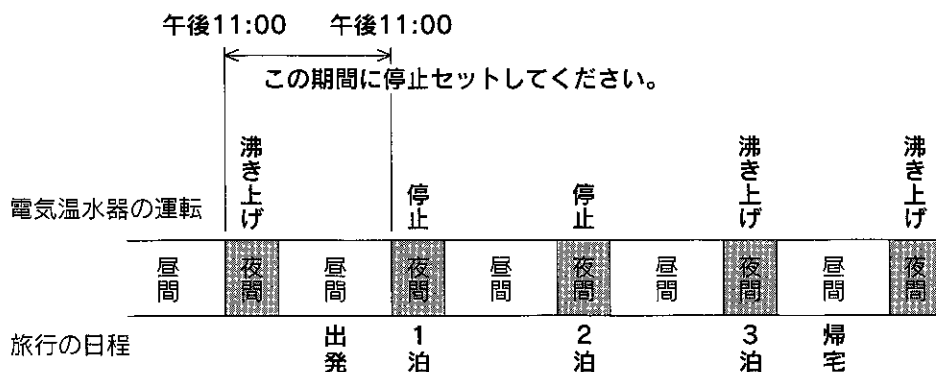


お知らせ

- 昼間の時間帯(午前 7:00 ~ 午後 11:00)に停止を設定した場合はその日の夜から沸き上げを停止します。
夜間の時間帯(午後 11:00 ~ 午前 7:00)に停止を設定した場合は次の夜から沸き上げを停止します。
- 停止を設定した場合は上部沸き増し、満タン沸き増しもできません。

例 3泊4日の旅行の場合

帰宅する前日の夜に沸き上げを行わないと帰宅する日にお湯は使用できません。
従って停止セットは、出発する前日の午後 11:00 から出発する日の午後 11:00 までに停止日数を 2 日間に設定してください。



使用上の注意

⚠警告

1 やけどに注意

給湯じゃ口を開くと、熱湯が吹き出ることがあります。やけどに注意してください。

⚠注意

2 漏電遮断器が作動したときは

漏電遮断器が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。  20ページ

3 感電に注意

漏電遮断器のレバーを濡れた手で触らないでください。また操作扉を開けたままにしないでください。ショート・感電・漏電の原因になります。

4 機器内の水について

機器内や配管内に長時間たまっていた水やお湯は、水質が変わることがあります。飲用、または調理に使用しないでください。

5 日常の点検・手入れを行う 20～22ページ

停電したときは

- 約8時間以内の停電であれば、停電後も設定した現在時刻や温度は記憶していますが、現在時刻や温度設定が合っていない場合は、設定し直してください。
- 電力供給中に停電が起きた場合は、設定温度まで沸き上がらない場合があります。

長期間使用しない場合

- 1カ月以上使用しない場合は、「凍結予防」(水を抜く方法)に従って機器内の水抜きを行ってください。  19・20ページ
- 1カ月以内の短期間の場合は、給水元栓を閉じ、漏電遮断器のレバーを「OFF」にしてください。ただし、冬期に凍結のおそれがある場合は「凍結予防」(水を抜く方法)に従って機器内の水抜きを行ってください。  19・20ページ
- 再びご使用になるときは、「使用前の準備」「使用方法」に従ってください。  11～16ページ

災害時などにお湯を取り出す

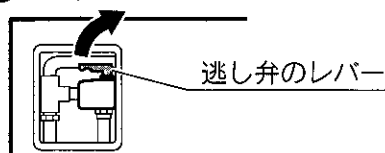
断水時や万一の地震などの災害時は、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。

1 漏電遮断器のレバーを「OFF」にする

2 温水器専用の給水元栓を閉じる

3 逃し弁のレバーを上げる

3 上げる



4 排水ホースを引き出す

4 引き出す
排水ホース



5 排水栓を開く

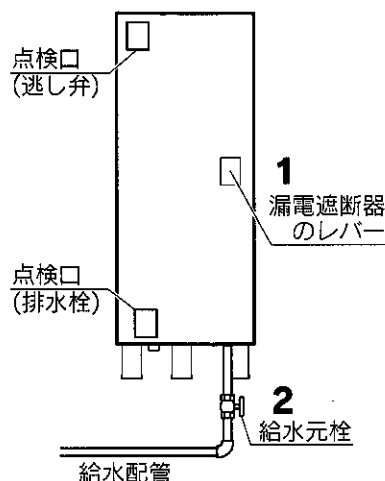
タンクのお湯(水)をバケツなどで受けて、
取り出します。
初めに湯あかやゴミが出ることがあります。

取水が終わったら、排水栓を閉じ、
逃し弁のレバーを下げ、排水ホースを
排水口に差し込んでください。

再度使用するときは

逃し弁のレバーを下げ、排水栓が閉じていること、排水ホースが排水口に差し込んである
ことを確認してから「使用前の準備」「使用方法」に従って使用してください。

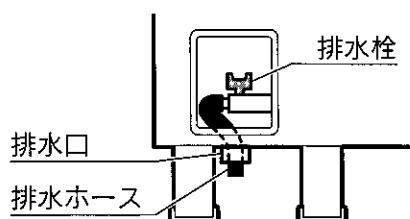
11~16ページ



警告

やけどに注意

機器内のお湯が冷えてから取水してくだ
さい。また、取水中に急に熱湯が出たり、
ホースが熱くなることがあります。



地震などの被害があったとき

●機器の被害を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

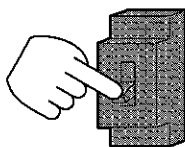
凍結予防

- 冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のために、機器や配管が凍結して破損することがあります。必ず配管の保温工事を行い、冬期には充分注意してください。
- 寒冷地では配管やバルブ類に市販の凍結予防装置で充分な保温工事を行ってください。

水を抜く方法(長期間使用しない場合)

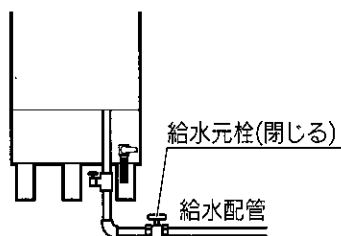
- 機器内の水を抜く場合は販売店にご相談ください。

1 200V 電源ブレーカを「切」にする

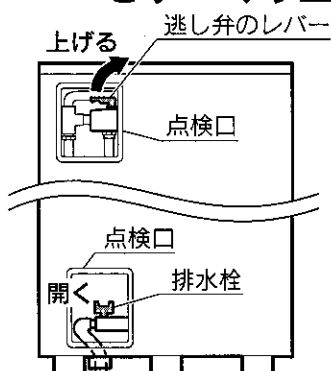


200V 電源ブレーカを「切」にします。
深夜電力契約では分電盤の電源ブレーカも「切」にします。

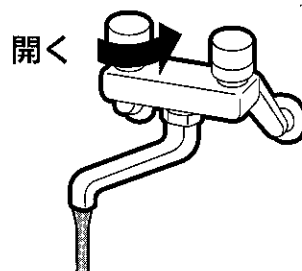
2 給水元栓を閉じる



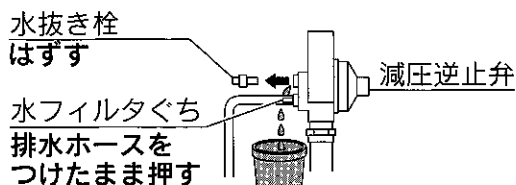
3 排水栓を開き、逃し弁のレバーをゆっくり上げる



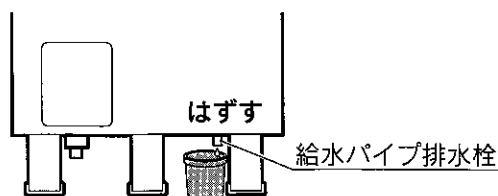
4 給湯じゃ口を開く



5 排水栓から水が出なくなったら、減圧逆止弁の水フィルタぐちを押し、水抜き栓をはずし、容器に水を受ける



6 給水パイプ排水栓をはずし、容器に水を受ける



お知らせ

- 配管・バルブなどの凍結予防はできませんので、必ず十分に保温してください。
- 機器内のお湯を排水する場合は水で薄めて流すか、冷えてから排水してください。
- 再度使用する場合は排水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げ、給水パイプ排水栓、減圧逆止弁の水抜き栓を取り付け、給水元栓を開いて機器に給水した後、「使用前の準備」「使用方法」に従って使用してください。

11~16 ページ

安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
漏 電 遮 断 器	万一漏電したときに自動的に電源を切ります。	お買い求めの販売店にご連絡ください。
温度過昇防止器 (過熱防止装置)	制御基板の故障や空だきなどにより、機器が異常に過熱したときに作動してヒータの電源回路を切ります。 エラーコード「E4」または「H4」を表示してお知らせします。 23 ページ	200V 電源ブレーカと漏電遮断器を「OFF」にして、お買い求めの販売店にご連絡ください。 深夜電力契約では分電盤の電源ブレーカも「切」にします。
圧 力 ス イ ッ チ	断水等でタンク内の圧力が低下したときに作動してヒータ通電を停止します。 エラーコード「E1」を表示してお知らせします。 23 ページ	機器内を満水にしてください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

注意

- 点検・手入れは200V電源ブレーカと漏電遮断器を「OFF」にし、機器が冷えてから行ってください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合は販売店にご連絡ください。

点検・手入れの時期、必要項目、方法

毎日

周囲の可燃物

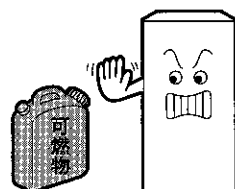


警告

機器の周囲に可燃物や、危険物がないことを確認してください。



確認



水漏れ

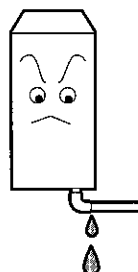


注意

機器、配管などから水漏れしていないことを確認してください。沸き上げ中は逃し弁から水が出ます。



確認



1 カ月に 1 回以上

漏電遮断器の作動確認



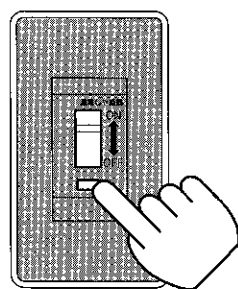
警告

200V 電源の通電時間中に行ってください。

- (1)アースが接続されていることを確認します。
- (2)操作扉のねじをゆるめ、操作扉を開きます。
- (3)漏電遮断器のテストボタンを押します。
「ON」になっている漏電遮断器のレバーが「OFF」になると正常です。
- (4)正常であれば漏電遮断器のレバーを「ON」にして、操作扉を閉じます。



確認

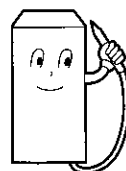


アースの確認



警告

アース線が途中で切れていないか確認してください。 アースをする



1 カ月に 1 回以上

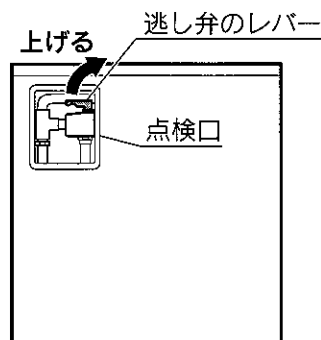
逃し弁の確認

⚠注意

逃し弁のレバーは熱くなりますので、やけどに注意してください。
また、レバーを急に上げると熱湯が吹き出ることがありますので、ゆっくり操作してください。



確認



⚠注意

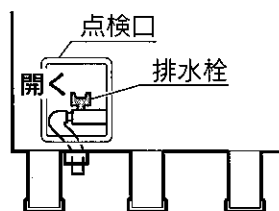
- (1)点検口のねじをはずし、点検口ふたを取りはずします。
- (2)逃し弁のレバーを上げて排水口から水が出ることを確認します。
- (3)レバーを下げて、水が止まることを確認します。
- (4)レバーの上げ下げを数回繰り返して、水アカやゴミを流します。
- (5)点検口ふたを元通りに取り付けます。

1 年に 1 回以上

貯湯タンクのお手入れ

⚠警告

- (1)排水栓を約 1 ～ 2 分間開きます。
貯湯タンクの下部にたまった汚れを排水します。
排水溝から排水があふれないように排水栓を調整してください。
- (2)汚れがなくなったら排水栓を閉じます。
汚れが多い場合は、数回繰り返してください。



減圧逆止弁の水フィルタの点検

減圧逆止弁の水フィルタにゴミが詰まると水が出にくくなりますので、販売店に点検を依頼してください。

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
機器を安心して長くご使用いただくために、1 年に 1 回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です。)

故障・異常の見分けかたと処置方法

サービスを依頼される前に

次のような場合は故障ではありません。サービスを依頼される前にもう一度確認してください。

現 象	説 明
お湯も水も出ない	●断水していませんか。 ●給水元栓を閉じていませんか。 ●凍結していませんか。
お湯が沸かない	●漏電遮断器のレバーが「OFF」になっていませんか。
お湯がぬるい お湯が足りない	●高圧力型のため、出湯量は従来の電気温水器よりも約20%程度多くなります。シャワーを使うときや、洗いものをするときはお湯をこまめに止めてください。 ●お湯を使いすぎていませんか。 ●出湯配管が水漏れしていませんか。 ●逃し弁のゴミかみにより水が漏れていませんか。 
汚れたお湯が出る	●近くで断水や水道工事はありませんでしたか。 
お湯が白く見える	●水中に溶けていた空気が分離して白く見えるためです。
リモコンの表面が熱く感じる	●使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じることがあります。
逃し弁から水が出る	●ヒータ通電中は逃し弁から膨張水が出ますが異常ではありません。

エラーコード(警告)表示

エラーコード(警報)表示はリモコンの時刻表示部に表示されます。

エラーコードが表示された場合は以下の処置を行ってください。

エラーコード	原 因	確 認 ・ 処 置	エラーコード	原 因	確 認 ・ 処 置
760	通信異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。	E5	給水サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E1	缶体圧力異常	機器内を満水にしてください。	E8	沸き上げ不足	23時～7時の沸き上げ時間中にお湯を多量に使用した場合など缶体下部が沸き上がっていない場合に7時以降表示されます。この表示は次の沸き上げ終了後に消えます。
E2	残湯量サーミスタ(150L)異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。	H8	上ヒータ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E3	残湯量サーミスタ(75L)異常		EL	制御基板・下ヒータリレー異常	
E4	温度過昇防止器(下)作動		EU	制御基板・上ヒータリレー・下ヒータリレー異常	
H4	温度過昇防止器(上)作動				

部品交換のしかた

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず長府高圧力型電気温水器純正部品(指定された部品)を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

仕 様

形 名	DO-465GPTH	
設 置 場 所	屋内外設置	
適 用 電 力 制 度	深夜電力用通電制御型 / 時間帯別電灯対応通電制御型	
タ ン ク 容 量	460L	
最 大 熱 出 力	5.4kW	
定 格	発 熱 体 制 御	単相 200V 5.4kW
消 費 電 力		単相 200V 5W
最 高 使 用 圧 力	0.19MPa(1.9kgf/cm ²)	
伝 熱 面 積	0.27m ²	
沸 き 上 げ 温 度	「高」約 90℃ 「自動」約 60～90℃ 「低」約 55℃	
定 格 周 波 数	50-60Hz	
外形寸法(高さ×幅×奥行き)	2,200 × 630 × 730mm	
質 量 (満 水 時)	83kg (543kg)	
接 続 径	給 水	R3/4(20A)
	出 湯	R3/4(20A)
	排 水	G1・1/2(40A)
電 流 ヒ ュ ー ス	250V 3A	
安 全 装 置	漏電遮断器、温度過昇防止器(過熱防止装置)、圧カスイッチ	
付 属 品	取扱説明書、工事説明書、保証書、リモコン	
別 売 部 品	リモコンコード、絶縁パイプ(0.5・1m)、水栓ソケット、 インサートバルブ、空気抜き弁、 空気抜き弁アダプタセット、アース棒、脚部カバー	

サービスを依頼されるときは

サービスを依頼される前に 23 ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品 名……………長府高圧力型電気温水器
2. 形 名……………DO-465GPTH
3. お買い上げ年月日
4. 故障の状況……………できるだけ詳しく
5. ご住所、お名前、電話番号
6. 訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

- 転居される場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設は販売店に依頼し、お客様自身で行わないでください。

保証・修理について

この機器には「保証書」がついています

- 正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定によりお買い上げ日より本体は 1 年間、貯湯タンクは 3 年間、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法でのクレーム発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結やスケール(石灰づまり)による故障の場合は保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品の最低保有期間

電気温水器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 8 年です

- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

設置工事後の確認と試運転

設置工事後の確認

1 設置場所

機器の設置場所は機器の満水時の重量に耐え、傾いたりしないようにアンカーボルトで固定してください。

2 排水工事

確実に排水処理されていますか。

万一漏れても、漏れた水が排水溝に確実に導かれるようにしてください。

3 アース工事

アース工事は確実に行われていますか。(D 種接地工事)

4 配管工事

配管はすべて保温されていますか。

寒冷地では市販の凍結予防装置による保温工事も必要です。

また機器の給水元栓の位置も確認してください。

万一水漏れ故障の際には給水元栓を閉じると水は止まります。

試運転 (試運転はお買い求めの販売店とご一緒に必ず確認してください。)

1 給水する

排水栓を閉じ、給水元栓、給湯じゃ口を開きます。

約 20 ～ 30 分後に給湯じゃ口から水が出れば、機器は満水になっていますので、給湯じゃ口を閉じてください。

2 電力供給の確認

(1) 深夜電力で契約している場合は電力会社の了解を得て専用タイムスイッチを通電状態にしてください。

(2) 漏電遮断器のレバーを「ON」にしてください。

(3) 漏電遮断器のテストボタンを押して、レバーが「OFF」になるか確認してください。



3 漏電遮断器のレバーを「ON」にする

(1) 漏電遮断器のレバーを「ON」にしてください。

(2) リモコンの「満タン沸き増し」スイッチを押すとリモコンのヒータ表示が点灯しヒータに通電を開始します。

(3) 電力量計が回転していることを確認します。

(4) 前パネルを元通りに取り付けます。(操作扉はねじを回し、完全に閉じてください。)

● すぐに使用されない場合は「長期間使用しない場合」を参照してください。



4 リモコンの時刻を設定する

リモコンの現在時刻を設定してください。

深夜電力で契約している場合は、専用タイムスイッチの時間を現在時刻に合わせてください。



おぼえがき

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
	電話番号		

●記入しておくくと修理などの依頼のときに便利です。

愛情点検



長年ご使用の機器の点検を！

こんな症状は ありませんか？

- お湯の出が悪い。
- お湯が早くなる。
- 逃し弁から昼間、常にお湯が出る。
- ときどき漏電遮断器が働く。
- その他の異常や故障がある。



お願い

このような症状の場合は使用を中止し、故障や事故防止のため技術者による保守点検を受けていただくことをおすすめします。
詳しくは販売店にご相談ください。

住宅設備機器総合メーカー



- 本社 ————— 山口県下関市長府扇町2-1
- お問い合わせ先 —————

本 社・営業部	〒752-8555	下 関 市 長 府 扇 町 2 - 1	☎(0832)48-1111 FAX(0832)48-1906
北海道販売センター	〒003-0809	札幌市白石区菊水九条2-3-1	☎(011)813-2210
盛岡営業所	〒020-0122	盛岡市みたけ5-15-50	☎(019)641-0811
仙台営業所	〒980-0012	仙台市青葉区錦町1-4-6	☎(022)264-0311
宇都宮工場・営業部	〒321-3231	宇都宮市清原工業団地30番	☎(028)667-6111
大宮営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町4-16-30	☎(048)653-8111
東京支店	〒160-0022	新宿区新宿5-14-6	☎(03)5369-3511
横浜営業所	〒224-0003	横浜市都筑区中川中央1-36-21	☎(045)912-3111
千葉営業所	〒261-0001	千葉市美浜区幸町2-24-32	☎(043)248-4111
名古屋営業所	〒465-0095	名古屋市名東区高社1-72-1	☎(052)779-2111
金沢営業所	〒921-8550	金沢市玉銚4-17	☎(076)292-3111
滋賀工場・営業部	〒520-2394	野洲市野洲1473-1	☎(077)588-4111
大阪支店	〒564-0053	吹田市江の木町18-27	☎(06)6338-7111
香川営業所	〒764-8510	仲多度郡多度津町東港町7-8	☎(0877)33-2311
岡山営業所	〒700-0976	岡山市辰巳3-111	☎(086)245-1111
広島営業所	〒732-0811	広島市南区段原1-1-1	☎(082)261-5111
福岡営業所	〒812-0063	福岡市東区原田4-2-7	☎(092)629-5111
沖縄営業所	〒901-2101	浦添市西原3-18-10	☎(098)877-3111



この印刷物は再生紙と天然成分で作られた有害物質の少ない大豆インキを使用しております。